



# 歯科だより



## 残存歯の清掃できていますか？

部分入れ歯を装着されている方は、入れ歯の手入れのほかに、残存歯（残っている歯）の清掃が必要です。特に「クラスプ」という金具がかかる歯は、金具との隙間が汚れやすく、噛む時の負担も大きいので、むし歯や歯周病になりやすい環境にあります。入れ歯を外してから歯磨きをしますが、入れ歯と接していた面などは、歯ブラシがしっかりと当たるように、歯ブラシの角度を考えて特に念入りに磨くことが必要です。

入れ歯の清掃は、入れ歯ブラシでしっかりこすって磨くことが基本ですが、入れ歯用の泡洗浄剤や水に溶かして漬け置く洗浄剤を週1回位使用すると、清掃効果が上がります。

「金具のかかっている歯はダメになる...」と思っている方もいるようですが、手入れしただけではむし歯や歯周炎にすることなく保つことができます。

手入れの方法など気になる方は、ぜひ歯科診療所にご相談ください。



▲歯の表面にしっかり歯ブラシを当てます



▲歯肉の境目も磨きます



▲インタースペースブラシでの清掃

## 佐井中学校歯科保健指導

2月4日(月)、佐井中学校で学校歯科保健指導を実施しました。今年度2回目の指導でしたが、生徒たちは3つのグループに分かれて、まず歯垢の染め出しを行い、磨き残しをチェックしました。

磨き残しの割合を計算から%で表し、ていねいに歯磨きができているかを確認しました。

また、「歯・口の健康」に関するクイズや、図や表を使って生活習慣の見直しをしました。

